

緑の募金にご協力をお願いします

当委員会の主要業務であります「緑の募金」運動を本年度も下記のとおり実施することとし、春の募金運動を3月25日（火）から5月31日（土）までの間、県下一斉に展開しました。初日は、イオン鳥取北店とイオン日吉津ショッピングセンターでの街頭募金でスタートしました。イオン鳥取北店では、鳥取市立賀露小学校みどりの少年団、イオン日吉津ショッピングセンターでは、日吉津村立日吉津小学校みどりの少年団の皆さんに協力をしていただき、朝10時より街頭募金を始めました。子どもたちの元気な呼びかけに多くの方に募金していただきました。また、家庭募金、職場募金、企業募金にもご協力をいただきありがとうございました。



平成26年募金運動計画

- (1) 目標額 2,500万円
- (2) 募金期間 春期 平成26年3月25日（火）～5月31日（土）
秋期 平成26年9月1日（月）～10月31日（金）
- (3) 募金方法 街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等
- (4) 主な用途 森林の整備（公共性の高い森林の整備等）
緑化の推進（公共施設等への植樹、緑化イベントの開催、
緑の少年団育成等学校関係の緑化、地域の緑化等）

この緑の募金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」（平成7年法律第88号）に基づいて実施するもので、森林の整備や各地域・学校・公共施設などの緑化等に活用され、地球の温暖化防止にも役立っています。

平成26年度春期募金結果は、

街頭募金55万円、学校募金105万円、

家庭募金1,521万円、企業募金18万円、

職場募金244万円、その他募金32万円、

合計1,975万円 対前年比の93.9%の実績を上げることが出来ました。



ご寄付いただきました浄財は外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た上で、森林整備、緑化事業の推進に大切にに使わせていただき、皆様方の居住環境の改善等に役立たせていただきます。ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

第2回通常総会の開催

と き 平成26年2月17日（月）
ところ 白兔会館「らいちょうの間」

平成26年2月17日（月）に、第2回通常総会を正会員99名のうち70名（出席32名、委任状38名）の参加を得て開催しました。

総会は野田理事長の挨拶に続いて、緑の募金高額寄付者への感謝状贈呈、公益社団法人国土緑化推進機構からの祝電披露、その後議長に鳥取県西部森林組合代表理事組合長の生田公良さんを選出し、議事録署名人に団体会員で智頭町森林組合代表理事組合長 寺坂安雄さん、個人会員の竹内功次さんを選任し、議事に入りました。

第1号議案「平成25年度事業報告及び収支決算について」報告し、監査結果を大家繁博監事から報告していただき、質疑等のあと1号議案は議案どおり承認されました。続いて第2号議案「常勤理事の報酬等の額について」説明し、質疑等のあと承認されました。その後、平成26年度事業計画及び収支予算について報告をし、了解をいただきました。

今年度の事業の推進について、皆様方の温かいご理解、ご協力をよろしくお願いします。



役員の皆様（平成26年4月1日現在）

役 員	氏 名	所属役職名	役 員	氏 名	所属役職名
理事長	野田 修	鳥取県議長	理 事	中村 力男	鳥取県建設業協会常務理事
副理事長	森下 洋一	鳥取県森林組合連合会 代表理事会長	理 事	藤原 眞澄	鳥取県山林樹苗協同組合 理事長
理 事	田中 朝子	鳥取県連合婦人会会長	理 事	森原 昌人	(株)新日本海新聞社執行役員 総務局長
理 事	浜橋 正教	鳥取県市長会事務局長	理 事	前田八壽彦	鳥取県木材協同組合連合会 会長
理 事	山本 義紀	鳥取県町村会 若桜町副町長	常務理事	岡村 通孝	(公社)鳥取県緑化推進委員会 事務局長
理 事	蔵増 保則	鳥取県農業協同組合中央会 専務	監 事	田中 静雄	鳥取県造園建設業協会会長
理 事	本城 浩	日本海テレビジョン放送(株) 執行役員編成営業局長	監 事	大家 繁博	鳥取県椎茸生産組合連合会 会長

緑の募金贈呈式



平成25年12月5日、株式会社新日本海新聞社岡田晴次執行役員営業局長様より野田理事長に緑の募金が贈呈されました。9月～10月の「緑の募金キャンペーン」にちなんで紙面掲載した「森林保全に関する特集記事」の一部収入を、県内の緑化事業に役立ててもらおうと寄付されたものです。ご協力ありがとうございました。

平成26年2月14日、全日本ロータス同友会 鳥取県支部様から「緑の募金」へのご寄付があり、事務局の谷口様より当委員会岡村事務局長へ贈呈していただきました。ご協力ありがとうございました。



5月14日、株式会社戸信様からノーレジ袋削減推進による収益金の一部を「緑の募金」へ寄付があり、同社小売部長 穂積 淳様より当委員会岡村事務局長へ贈呈していただきました。ご協力ありがとうございました。



6月6日、県議会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。千代三洋工業株式会社様（贈呈者：代表取締役社長 山田哲様、社員代表 松谷頼和様、総合企画部長 山本義弘様）では、社内で積極的に職場募金を呼びかけられ、集まった浄財を「緑の募金」として、この度当委員会野田理事長にご寄付をいただいたものです。ご協力ありがとうございました。

6月27日、農林水産部長室で「緑の募金」贈呈式が行われました。鳥取いなばライオンズクラブ様（贈呈者：野村俊美会長）では、鳥取いなばライオンズクラブの例会（月2回開催）で会員に「緑の募金」を募り、集まった浄財を「緑の募金」としてご寄付いただいたものです。

ご協力ありがとうございました。



7月28日、県議会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。レジ袋無料配布中止運動を実施しているイオンリテール株式会社中四国カンパニー様（代理贈呈者：森イオン鳥取店店長）では、鳥取県内5店舗のレジ袋運動収益金を「緑の募金」として、この度当委員会野田理事長にご寄付をいただいたものです。

ご協力ありがとうございました。

「緑の募金」へのご協力、誠にありがとうございました。

ご寄付いただきました「緑の募金」は、本県の森林整備、緑化推進のため有効に活用させていただきます。

■誕生記念樹贈呈事業

お子様の誕生をお祝いするとともに、緑を育てることの大切さを親と子どもに共有してもらうため、県内に居住している誕生1年以内の子どもを対象に「誕生記念樹贈呈事業」を実施しました。平成24年9月1日～平成25年8月31日生まれの赤ちゃんを対象に募集したところ、66名の応募がありました。

記念樹は樹高80cm程度の「キンモクセイ」で、段ボール箱に箱詰めし11月初旬に発送しました。

写真は記念樹を受け取られた赤ちゃんとお母さんです。キンモクセイの贈呈を大変喜んでいただきました。他にもたくさんのお礼のハガキをいただきました。

お贈りしたキンモクセイがお子様の成長を見守り、緑の充実に役立つことを願っています。

また、今年度も誕生記念樹贈呈事業を行います。

対象は、平成25年（2013年）9月1日～平成26年（2014年）8月31日までに生まれた、鳥取県在住の赤ちゃんです。募集期間は、平成26年9月1日（月）～10月10日（金）までです。（10月10日の消印有効）贈呈樹種は、「キンモクセイ」「コデマリ」「ハナミズキ」各80本です。計240名。

該当される赤ちゃんがおられましたら、ご応募ください。

詳しい案内は、本委員会のホームページをご覧ください。

※対象の赤ちゃんに対して複数応募があった場合、配布記念樹は1本とさせていただきますのでご了承ください。



■第59回鳥取県植樹祭の開催

5月25日（日）鳥取県、湯梨浜町及び本委員会の主催により、東伯郡湯梨浜町川上「東郷運動公園」において「舞い上がり みどりの羽衣 郷土から」を大会テーマとして第59回鳥取県植樹祭が開催されました。

式典が始まるまでの間、湯梨浜町立羽合小学校みどりの少年団のみなさんが緑の募金活動を行いました。子どもたちの元気な呼びかけに、多くの方にご協力をいただきました。ありがとうございました。

10時よりソメイヨシノ、イロハモミジ、オオモミジなどの植樹が参加者によって行われました。11時よりオープニングアトラクションとして泊クラブ「海響太鼓」が披露され、参加者から盛大な拍手が送られました。

続いて開会が宣言され、みどりの少年団の皆さんの元気な入場行進と少年団の紹介、主催者挨拶、来賓紹介の後、テーマ表彰があり、第59回鳥取県植樹祭テーマ最優秀賞に鳥取市在住の桃木 万智さん、同優秀賞に

鳥取市立青谷小学校の吉田 千春さんが受賞されました。その後、代表植樹が行われ、「森林・みどりへの想い」発表として、湯梨浜町立泊小学校みどりの少年団、鳥取県中部森林組



合の若手林業後継者 福井 隆一さんの発表が行われました。

昼食時にはアトラクションとして、ローカヒ・カ・マカナ湯梨浜によるフラダンス、鳥取県無形民俗文化財の東郷浪人踊が披露されました。また、地元特産物の販売も行われ多くの人で賑わっていました。

鳥取県緑化推進委員会では記念品としてマユミ、ナツツバキの苗木各300本計600本の無料配布を行い好評を得ました。

森林・木にふれる催しとして木工教室、竹林整備体験、羽衣石城森林散策が行われ、多くの方に参加いただきました。



第65回全国植樹祭が新潟県で開催される



第65回全国植樹祭が平成26年6月1日（日）に新潟県長岡市「ハイブ長岡」を式典・お手播き会場に、「未来へつなぐ森の力～復興から創造へ～」を大会テーマとして、天皇、皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地の林業関係者や地元関係者が参加して盛大に開催されました。

オープニングでは、東日本大震災復興支援として東北3県（岩手県、宮城県、福島県）の代表者に緑化樹木の贈呈があり、プロローグ歓迎アトラクション「ようこそ&ありがとう～新潟の四季～」のあと、天皇皇后両陛下がご到着され、式典が始まりました。

開会の言葉に続き三旗掲揚・国歌斉唱、主催者挨拶、表彰等が行われ、天皇皇后両陛下によるお手播きが行われました。

その後、天皇皇后両陛下は中越大震災メモリアル拠点施設「川口きずな館前広場」の植樹会場へ移動されました。お手植え会場でのオープニングでは、震災で被害にあわれた方々への黙とう、復興から創造へ「感謝のメッセージ」、苗木の贈呈の後、天皇陛下はブナ・イタヤカエデ・ホオノキ、皇后陛下はユキツバキ・ヤマボウシ・ウワミズザクラのお手植えと代表者の記念植樹が行われ、第65回全国植樹祭は閉会しました。



平成26年度第2回緑の募金等運営協議会

平成26年7月17日（木）ホテルモナーク鳥取において、平成26年度第2回緑の募金等運営協議会が開催されました。

これは、皆様からいただいた緑の募金の使い道について審査をする会です。

皆様にご協力いただいた募金は、街頭募金、学校募金、家庭募金にかかるものは、65%を限度に各市町村支部を通じて、緑化活動を実施する団体に交付金として交付し、地域や学校などの緑化に活用してもらい、他の募金については、公募事業等により、各種団体やみどりの少年団等が行う森林づくりや緑化イベントなどの助成金として交付します。

「緑の募金」の用途につきましては、外部委員からなる「緑の募金等運営協議会」の意見を聞きながら、適切かつ有効に活用するように努めています。

今回、審査・決定された各市町村で実施される緑の募金交付金事業は270団体8,156千円、公募を行った緑の募金助成金事業は11団体2,061千円です。

今後事業実施を希望する団体がありましたら、当委員会もしくは各市町村農林（産業）担当課へご相談ください。



会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
（鳥取県農林水産部森林・林業振興局内）
（公社）鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>